

都庁の石

大原 勲¹⁾

この度、マスコミで何かと話題になってきた新都庁舎の石について執筆依頼があったので、紹介させていただくことにする。建築技術屋がどんなイメージをもって石を扱っているかの一端を御理解いただければ幸いである。

東京都庁舎は1986年4月に指名コンペ（設計競技）により丹下建三氏の作品が採用されたことは記憶に新しい。それから5年を経て本年2月に竣功したところである。

都庁舎の数ある特徴を石という視点でみた場合、やはり外壁のデザインが第一にあげられる。双塔状の第1本庁舎、階段状の頂部の第2本庁舎で特徴づけられる形（写真1）には、世界都市東京のシンボルにふさわしい外皮が求められたのである。それは江戸以来の伝統をもつ東京の文化性と、世界の最先端を進む、東京の先進性をイメージすることであった。つまり、江戸以来の伝統を柱梁のリズムや連子格子の木の構成パターンに求め、先進性をICやLSIの集積回路のパターンに求めたのである。

その外装材にはシティホールという建物の性格を考慮に入れ、耐久性に富み、メンテナンスが容易で、歴史的に見ても安全性の高い御影石が選ばれた。濃淡2種類があり、濃い方がスウェーデン、バステルピク産のロイヤルマホガニー、白の方がスペイン、ポンテベドラ産のホワイトパールである。使用量は約110,000m²で、マホガニー1に対しホワイトパール4の割合である。厚さはほとんどが3cmで、コンクリート版の外面に打込まれている。形状・寸法による種類は約2000種類に及んで複雑な外壁パターンを生み出している。又、石の色合い、斑点、縞模様などは設計者との協議で許容範囲を決定した。これは石の研究者からみれば貴重な資料かも知れないが、建材として扱う場合は均一性が最も重要な要素となるためである。

この外装石は産地から船でイタリアへ運び、工場に加



写真1 東側からみた新都庁舎。右側双頭の庁舎が第一本庁舎（47階建）、その手前に都議会議事堂（7階建）などの付属施設がある。左手奥に第二本庁舎（34階建）があり、第一本庁舎とは3階で連絡している。

キーワード 都庁、御影石、大理石、スウェーデン、スペイン、イタリア

1) 東京都財務局管轄部国際施設建設室：

〒163-01 東京都新宿区西新宿2-8-1

工され、更に東京、名古屋へ海上輸送された後、PC工場にて外装材となるのである。

ホワイトパールは1～2階のエントランスホールの床及び壁にも使用され、特に床はイタリア産のローザギヤンドーネとのパターン化を行っている。このエントランス部分の使用量は約17,000㎡である。

更に内装用石材は韓国小桜、中国産マロンドュミフォンセが多少使用されている他、イタリアの大理石が広範

囲に使用されている。ビヤンコカララホワイト及びプロイレ、ペルリーノ、チャボホリフェリコ、スベポロイアル、オンダカタライト、ポテチーノ、マルケグリーン等である。使用量は約24,000㎡である。

又、外構工事にもかなりの石が使われている。石垣の韓国産レジョン(大川石)を厚さ10cmのブロックにし割はだ状に仕上げ、約4,600㎡使用した他、各棟の2階正面に庁舎名版として約3m×1m×1m程の木曽石を設置している。

都庁舎のキャッチフレーズが「自治と文化」をうたっているところから、その文化を象徴するものとして庁舎の内外に散りばめられたアートワークが38点ある。その大部分が抽象彫刻でそのうち7点が石の彫刻である。

それらの作品群のうち、第1本庁舎7階(知事室フロア)にある故イサム・ノグチ氏の黒御影の作品(写真10)以外は全て外部にあり、この地の周景に溶け込み潤いのある空間を創出している。

ふれあいモールと呼んでいる道路上の人工地盤には、関根伸夫作「空の台座」(アフリカ産黒御影、写真11)、「水の神殿」(同、写真12)、成田武羅作「SORI, No. 86」(岡崎産白御影細目、写真13)があり、第1本庁舎の新宿中央公園側には速水史郎作「宇宙からのメッセージ」(アフリカ産黒御影、写真14)、岡本勝利作「繋がり」(アフリカ産インバラティラーG、写真15)、菊地伸治作「地平線の断片No.2」(黒御影産地不明、写真16)が設置されている。これらは中央公園の豊かな緑をバックにした散歩道として独特の雰囲気をかもし出している。

OHARA Isao (1991) : Stones used in the new Tokyo Metropolitan Government Building.

>受付: 1991年5月15日>

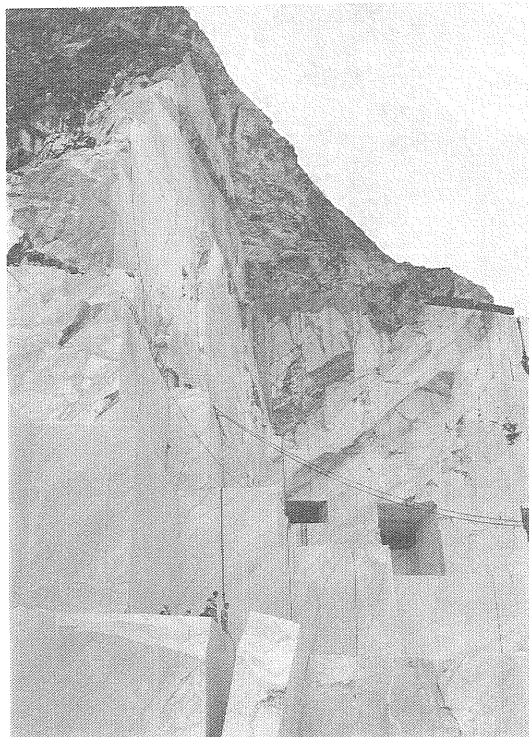


写真2 イタリア、カララ地方の大理石工場。右上から左下へ層理面が走り、それに沿って不純物が夾まれる

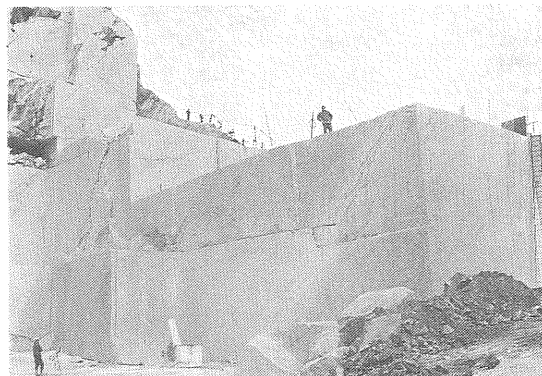


写真3 カララ地方、カッターによる大理石の切り出し風景



写真4 加工工場におけるホワイトパール製品検査

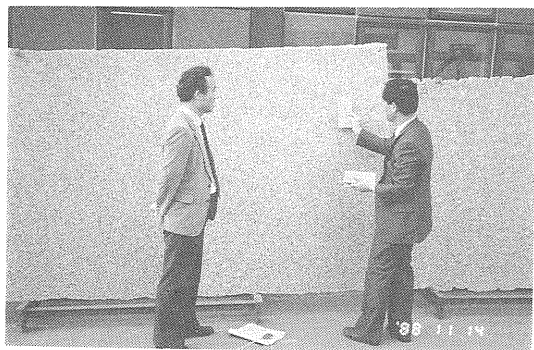


写真5 テストピースを使つての均質性検査

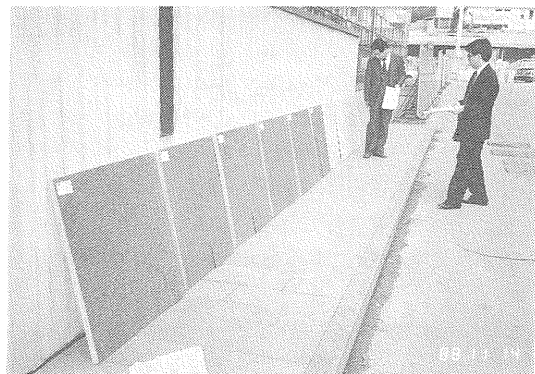


写真8 色調検査. 手前がロイヤルマホガニー



写真6 板材の寸法検査



写真9 板材, 最終製品

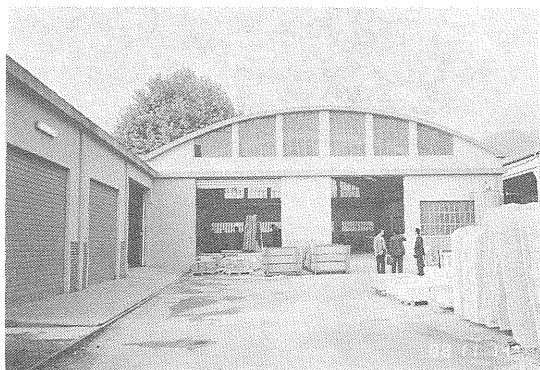


写真7 加工工場風景

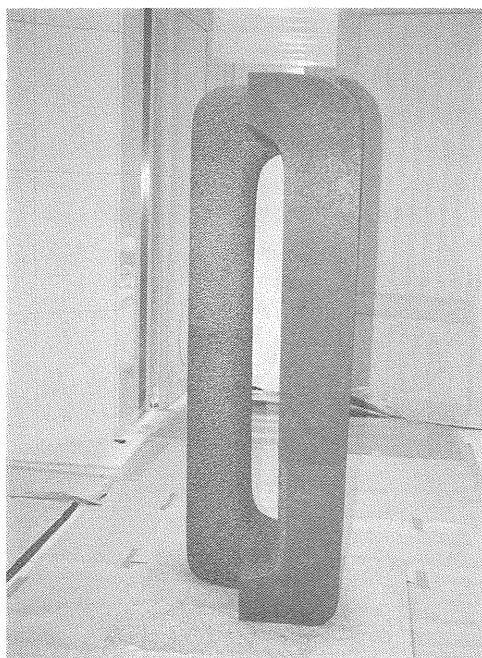


写真10 知事室前のアートワーク. イサム・ノグチ作

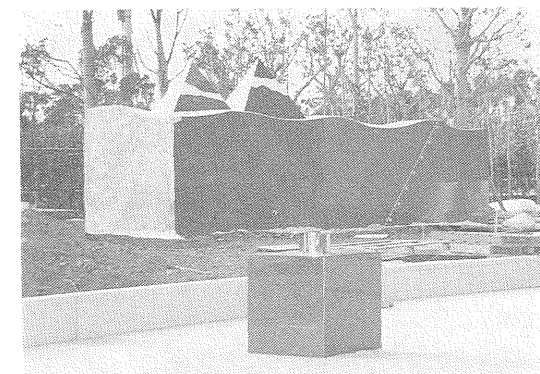
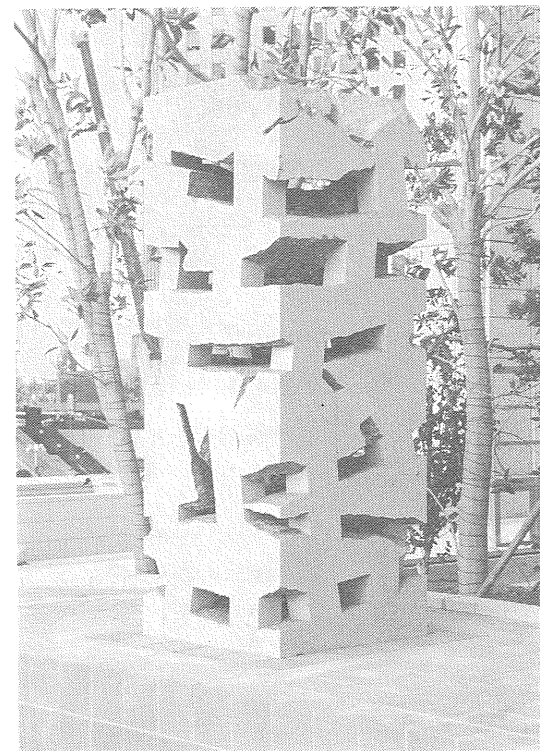
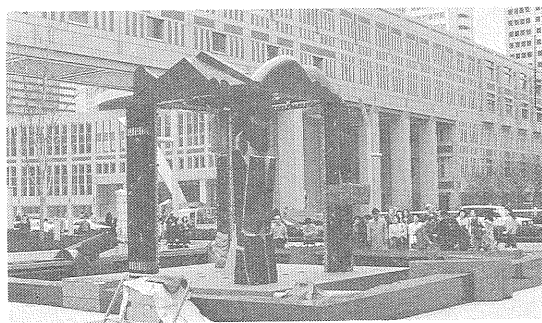
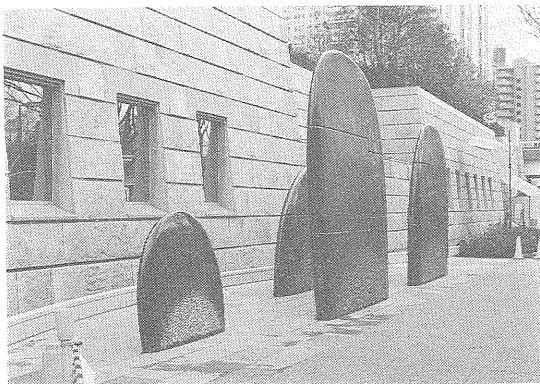


写真11-13 (左段), 14-16 (右段) 新都庁舎を飾るアートワーク